

2022年度（第9期）事業報告書（2021年10月1日～2022年9月30日）

A. はじめに

B. 人材育成（人づくり）事業

1. 勉強会「てらこや」
2. 講師・ファシリテーター派遣
3. ニュースレター「かわらばん」
4. ほんプロ

C. 研究（知づくり）事業

1. 国際協力事業に関する知見の公表
2. 研究者との連携

D. 実践（場づくり）事業

1. 国際協力
2. 地域保健医療派遣
3. 他 NGO などとの連携

E. 事務局業務

1. 事務所
2. 運営
3. 広報
4. 会員

F. 会計（別添：2022年度（第9期）部門別収支報告書）

A. はじめに

JICA 草の根技術協力事業【パーツ大学における「住民ニーズに基づく保健実践」のための教育強化プロジェクト】（以下、草の根プロジェクト）は2回にわたる事務局長の渡航を経て、2022年10月実施の本邦研修準備を行なった。「てらこや」、「かわらばん」も定着している。

AHI との協働で開始した Helping Health Workers Learn 日本語版翻訳プロジェクト（以下、ほんプロ）は7月にPDF版として出版され、10月から販売開始となった。

B. 人材育成（人づくり）事業

1. 勉強会「てらこや」開催（別表参照）

例年は年6回開催しているが、今期は5回の開催となった。（5月の職員出張中に東ティモールから開催予定だったが技術的問題で現地からの配信が困難だったため）。目標参加人数20人/回を目指したが、今期は平均17人となった。開催方法は前年度と同様オンライン開催となった。終了後には当法人ウェブサイトとニュースレター上で内容を報告した。

2. 講師・ファシリテーター派遣

以下のとおり派遣した。

- ・日本福祉大学国際福祉開発学部（国際開発と障害学15コマ）への講師派遣（2021年9月～11月、2022年9月～11月、石本）
- ・愛知県作業療法士会現職者研修（日本と世界の作業療法の動向）への講師派遣（2021年10月24日、石本）
- ・新潟大学医学部（医療ボランティア論1コマ）への講師派遣（2021年11月3日、石本）
- ・日本福祉大学国際福祉開発学部（現代福祉1コマ）への講師派遣（2022年6月10日、石本）
- ・日本福祉大学国際福祉開発学部（国際保健15コマ）への講師派遣（2022年9月、石本、樋口）

3. ニュースレター「かわらばん」発行

例年よりやや遅れ2月（9号）と8月（10号）に各4ページで発行した。発行部数は各号100部、うち会員および関係者（過去の講師、連携団体、業務依頼先など）約70件に発送した。その他は、イベントなどで広報に活用した。

4. ほんプロ

アジア保健研修所（AHI）と共同で進めた同事業は、ボランティアによる翻訳および監修作業が7月に終了した。日本語版タイトル「学ぶことは変わること 自分と地域の力を引き出すアイデアブック」として、当初の予定より大幅に遅れたものの2022年7月に出版し、オンラインサイトBaseにて10月より販売を開始した。また、協力者（翻訳ボランティアと寄稿して下さった本田さん計30人分）と販売サンプル用に35部簡易印刷した。さらに、販売促進専用サイトを開設した。

C. 研究（知づくり）事業

1. 国際協力事業に関する知見の公表

草の根プロジェクトで得た知見の公表には至らなかったが、今期にプロジェクト内で実施した「学生の保健データ活用に関する知識とスキルの現状」調査（詳細は後述）の結果がまとまったので、公表先を検討中である。また、草の根プロジェクトと連携した研究計画が開始となった。

2. 研究者との連携

プロジェクトのC/Pとプロジェクトメンバー、および名古屋市立大学大学院生との共同研究が2月に国際学会（The 5th Global Public Health Conference 2022、2022年3月24～25日開催）で発表され、4月に国際雑誌に投稿された（査読中）。

3. 研究課の活動

今期は研究員登録の希望者はいなかった。

D. 実践（場づくり）事業

1. 国際協力

草の根プロジェクトについて、2021年11月～12月ならびに2022年4月～5月に石本事務局長が現地に渡航した。2021年11月の渡航ではカウンターパートであるパーツ大学教員の学外実習実施状況を視察したほか、「学生の保健データ活用に関する知識とスキルの現状」のパイロット調査を実施した。2022年4月の渡航時は前述の学生状況調査を拡大して実施したほか、業務補助員を通して学内授業を支援した。また、C/Pとともに活動内容の見直しと、本邦研修の実施方法について協議した。JICAから本邦研修実施の許可が出たので、2022年10月に本邦研修を実施する方向で準備を進めた。さらに、事業の成果に向けて活動の見直し作業をC/PならびにJICA担当者と進めた。

2. 地域保健医療支援

昨年度に引き続き、愛知国際病院に医師を派遣した（月2回）。

3. 他 NGO などとの連携

- ・AHIと協力し、ほんプロ監修作業、出版作業を共同で実施した。
- ・国際リハビリテーション研究会の第6回学術大会（2022年11月13日、愛知県、学会テーマ「国際リハビリテーションの新たな可能性：内なる国際化への貢献を目指して」）に協力した。（石本事務局長が学会長、樋口代表理事がシンポジストとして協力）
- ・名古屋市立大学看護学部の臨地実習「多文化健康支援看護学実習」の受入準備を進めた。（2025年度より正式受入）
- ・People's Health Movement（PHM）、SDGs JapanのMLへの参加を継続した。メールマガジンでPHMに関する情報を配信した。

E. 事務局業務

1. 事務所

2022年7月まで法人登録住所である名古屋市瑞穂区田辺通1-22-2の1室を事務所として賃借した。賃貸契約条件は前期と同じく、家賃（光熱費込み）21,600円（消費税込）、共有の電話・インターネット料金をBiPH負担とした。事務所の大家が土地家屋を手放すこととなったため、8月5日に新事務所に移動した。新事務所の家賃ならびに光熱費は無料で、通信費はBiPH負担とした。なお、旧事務所のあった土地家屋は社会福祉法人名古屋ライトハウスの所有となった。名古屋ライトハウスの了解で、登記上の住所は旧事務所に据え置くこととなった。

2. 運営

理事会：2回開催した。（10月（第14回）はオンライン開催、12月（第15回）はメール開催）

事務局：事務局は前年度に引き続き、樋口倫代と石本馨2名で運営した。樋口は水曜日午前（事務局）、土曜日（愛知国際病院への派遣）の勤務であった。石本は月・水・木・金の勤務で、広報、渉外、経理、庶務など事務局業務全般を担当した。

外部委託：決算・納税に関する相談をNPO法人ボランティアネイバーズに依頼した。また、役員任期満了に伴う登記業務を司法書士事務所ひららに依頼した。ウェブサイト維持は、引き続きシステム開発会社プロテックに依頼した。これまでBiPHがメールおよびウェブサイトに使用してきたuminに不具合が多発したことから、他のレンタルサーバーを利用する方向で新ドメイン取得ならびにウェブサイト移設をプロテックに依頼した。

3. 広報

ニュースレター「BiPHかわらばん」を予定通り年2回発行した。法人ウェブサイトとFBページを維持した。前述したウェブサイト移設作業を優先したため、今期に予定していたウェブサイト追加修正は発注しなかった。同じく、勉強会コンテンツの整理作業もできなかった。メールマガジンは勉強会広報を中心に不定期で配信した。

4. 会員

2022年9月末で個人正会員35人（うち終身会員4人）、団体正会員2団体、個人賛助会員3人となった。新規入会は1件、退会1件であった。3年以上の会費未納による社員資格喪失該当者は1名となった。

また、7名（会員6名、非会員1名）より合計33,500円の寄付をいただいた。ニュースレターを活用して、入会済みの会員に活動報告をするとともに、引き続きサポートと参加をお願いした。

F. 会計

今期の収入総額4,879,447円（前年比93.1%）、支出総額6,276,353円（前年比170%）だった。今期収支差額は-1,396,906円であった。昨年度との違いは、収入についてはJICA事業収入増加、国際病院派遣収入増加、寄付収入減少である。また、支出増については、業務増加による事務局人件費の増加、草の根事業関連経費（現地出張2回、本邦研修費用）、ほんプロの製版費用が主な要因である。ただし、草の根プロジェクトに関しては、JICA四半期部分払いを選択したことにより、プロジェクト実施中は収支バランスがマイナスとなる。プロジェクト終了時には回収できる見込みである。ほんプロに関しては、PDF版が300部の購入があれば収支バランスがプラスになる見込みである。

今期末の純資産合計は7,471,628円となる。

別表：勉強会

回	日時	内容	担当	参加人数
1	2020/11/26	これまでと、これからと ～東ティモール事業&ほんプロ 茶話会～	BiPH&ほんプロ監修チー ム有志	19 会員 17 非会員 2
2	2021/1/28	尊厳ある生のために	安藤明夫 (中日新聞編集委員)	20 会員 12 非会員 7 学生 1
3	2021/3/25	患者と医療者と社会の架け橋に ～当事者セラピストの活動～	山田隆司	26 会員 10 非会員 16
4	2021/7/29	東ティモール草の根技術協力事 業報告 ～公衆衛生学部生の現状 調査から～	BiPH 事務局	8 会員 6 非会員 2
5	2021/9/29	Activities of supporting homeless people in Nagoya (名古屋のホームレスの人びと への支援活動)	レジナルド・バヤニ・ サロンガ (名古屋市立大学)	12 会員 6 非会員 6